

創エネ神戸 夏休み工作塾 ソーラー風車 令和元年 8月3日

8月3日、しあわせの村 研修館にて、「夏休み工作塾 ソーラー風車作り教室」を10時と13時からの2回開き、39名の児童（小学4～6年生）が参加しました。

初めに、地球温暖化、二酸化炭素、太陽光発電などについてパワーポイントにて説明。

その後、ハサミやのりを使用してソーラーハウスや風車小屋を作り、ソーラーパネルと風車を組み立てました。屋外でソーラーパネルに太陽光を当てて風車が回った時には歓声があがっていました。

創エネ神戸は、山田、福田、水上、三上、岡本が参加しました。

最初に「地球温暖化」について説明しました。なぜ暑くなっているのか。二酸化炭素暑くならないようにするために何をしたら良いかなど・・・



まずソーラーハウスの外周用の紙を切り、牛乳パックで作ったソーラーハウスにのりで貼りつけました。名前も書きました。



次にソーラーハウスの上に、ソーラーパネルを両面粘着テープで固定しました。



次に風車小屋（紙コップ）の外周用の紙を切り、紙コップの外周にのりで貼りつけました。



紙コップの風車小屋の上にモーター部を接着剤で貼りつけました

プラスチックボードの上に、ソーラーハウスを両面粘着テープで、風車小屋を接着剤で貼りつけました。



ソーラーパネルと風車のモーターとの間をリード線をつなぎ、最後に風車を取り付けて完成です。

屋外に出て、太陽光をソーラーパネルに当てて風車を回しました。



当日は快晴で強い太陽の光で全員のソーラー風車が勢い良く回り、「回った！回った」と歓声があがっていました。

太陽のエネルギーを感じてもらったようです。

全員が「楽しかった」と言って、ソーラー風車を大事そうに持って帰りました。



(生環 18 岡本紘一)